

2014年度事業報告書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

特定非営利活動法人アフリカ日本協議会

1 2014年度事業について

1) 厚生労働科学研究費補助による在日アフリカ人を対象とした保健医療分野、HIV対策研究事業、2) アフリカンキッズクラブ、3) 地球環境基金の助成によるポスト2015地球規模課題に関するNGOネットワークによるアドボカシー活動、4) ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）をテーマとした外務省NGO研究会、5) イオン環境財団の助成金によるコンゴ共和国での熱帯林調査事業、6) ウェブサイト・会報等を活用したアフリカが直面する課題、特に国際保健、食料安全保障、アフリカ熱帯林の課題、アフリカ子ども学に関わる情報発信、セミナー開催ほかの取り組みを実施した。それぞれの活動に関する報告書、ウェブサイトでの情報発信は多くの人に参照され、他のNGOや国際協力機関の活動に反映された。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	支出額
アフリカ支援事業	<ul style="list-style-type: none">○ 在日アフリカ人コミュニティ、日本のNGOや保健医療関係者と連携し、在日アフリカ人の保健対策、HIV検査・治療および生活支援等の事業を実施した。<ul style="list-style-type: none">・在日アフリカ人の保健医療へのアクセスとニーズに関する調査をパイロット的に実施した。・在日アフリカ人のHIV陽性者への支援を他団体と連携して行った。○ アフリカンキッズクラブ、在日アフリカ人の生活を考える会に関わる事業を実施した。<ul style="list-style-type: none">・12月に拓殖大学アフリカ研究愛好会企画のイベントを、3月には動物園企画（横浜市立金沢動物園）を実施した。・8月に奥多摩での一泊二日のサマーキャンプを実施した。・5月に、アフリカ料理を作って食べる会を開催した。・アフリカからの留学生向けリーフレットを作成した。	3,052,447円
ネットワーク形成事業	<ul style="list-style-type: none">○ JANIC、GII/IDI・NGO連絡会、NGO・労組協働フォーラム、CSR推進NGOネットワークの会員として活動に参加し、また児童労働反対キャンペーンほかに参加した。<ul style="list-style-type: none">・4月にメーデー、12月に世界エイズデー・シンポジウムに参加した。○ ポスト2015の課題に関するNGOの提言活動につながる環境・開発セミナー、学習会等を開催し、また、アフリカのNGOとTICAD等の機会にポスト2015に関わるアドボカシーを進めるための戦略会合をウガンダで行った。○ ユニバーサル・ヘルス・カバレッジをテーマとした外務省NGO研究会を実施し、NGO向けハンドブックを作成・配布した。○ アフリカに関わるNGOデータベースを公開、更新し、NGO同士の連携、国際協力機関とNGOの関係強化に寄与した。○ アフリカで活動するNGOに関する個人・企業・財団・学校等からの問い合わせ・相談に応じ、個人・企業・財団・学校等とNGOとの関係強化に寄与した。	7,275,485円
	<ul style="list-style-type: none">○ （特活）ハンガー・フリー・ワールド、（特活）日本国際ボランティア	

<p>アフリカ調査 ・研究事業</p>	<p>センター（JVC）、オックスファム・ジャパン（OJ）および明治学院大学国際平和研究所（PRIME）とともに、10月、11月、12月、3月に計4回、家族農業をテーマに連続公開セミナー「食べものの危機を考える」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2013年度に実施したセミナー「食べものの危機を考える」をもとに作成した冊子『飢餓を考えるヒントNo.6 農業投資を考える』を会員、協力者、研究機関等に配布した。 ○ 「世界食料デー」月間の取り組みに参加し、7月にWE21と世界食料デー月間2014イベント「日本の食卓とつながるプロサバンナ事業ー経済開発の名の下に壊される農民の暮らしー」を開催した。 ○ イオン環境財団の助成を受けて、「河川漁撈による地域経済振興と象牙利用の実際に関する研修を通じたコンゴ共和国世界遺産地域における絶滅危惧種マルミミゾウの実践的保全戦略の構築」の調査事業を行った。 ○ アフリカ熱帯林の課題に関わる情報発信・集積を進めた。 ○ メールマガジン「グローバル・エイズ・アップデート」を定期発行した（244～268号）。 ○ アフリカ子ども学研究会に関わる取り組みを行った。 	<p>650,496円</p>
<p>政策提言 事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「動く→動かす」事務局として、MDGs達成に向けたNGOによるアドボカシー活動を担った。 ○ 市民ネットワーク for TICADの世話人団体として、TICAD Vフォローアップ、TICAD VIに向けたアドボカシー活動に参加した。 <ul style="list-style-type: none"> ・5月にカメルーンで開かれたTICAD閣僚会議に対する取り組みを行った。 ・2月にウガンダで、ポスト2015の課題を含め、アフリカと日本のNGOの連携を進めるための戦略会合を準備し、参加した。 ○ 他のNGOとともに、世界エイズ・結核・マラリア対策基金の強化を目指すアドボカシーを行った。 ○ モザンビーク・プロサバンナ事業に関するモザンビーク農民組織・市民組織の声を日本に伝え、外務省との意見交換会などを通して事業の課題を明らかにする活動に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度に2回開かれたプロサバンナ事業に関する外務省との意見交換会への参加、他団体や国会議員と連携しての政策提言を行った。 ・他団体とともに8月に現地調査を実施し、10月に報告会を開催した。 	<p>1,265,132円</p>
<p>アフリカ理解促進 事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会報「アフリカNOW」第101号を発行した。 ○ メールマガジン「AFRICA ON LINE」を定期発行した（745～79号）。 ○ グローバルフェスタ2014に参加し、アフリカに関心を持つ人のネットワークを拡大した。 	<p>180,568円</p>
<p>事業費合計</p>		<p>12,424,128円</p>

3 会の運営に関する事項

事務局家賃、事務局員人件費、事務消耗品費、通信費、広告宣伝費などに3,725,892円を支出した。